

約束を守ることは、大切だと頭では理解していても、身近な人間関係での小さな約束事も、必ずすべて守っているという人はどれほどいるでしょうか。

特に頻繁に交わされる約束の一つが時間の約束です。三十代で経営者のA氏は、所属する経済団体で毎月開催される会議に出席しています。A氏はこの会議に一度も遅刻したことがありませんが、他のメンバーは遅刻が目立ち、開始時間になっても会議が始まらないことが長年続いていました。

日頃、仕事で取引のある団体のメンバーたちは、仕事の約束は守るものの、団体会議ではそれが徹底されていませんでした。その月の会議は、予定時刻から十分以上遅れて開始されました。A氏はこの状況がさらに悪化するのではないかと危惧しました。すると、ちようどその日の会長の挨拶の中で、「時間を守ることを今一度見つめ直し、信頼関係を築きましょう。他人の時間を奪うことのないように」と遅刻について言及があったのです。

会長の挨拶を聞き、会議に出席していたメンバー全員が一瞬静まり返りました。そしてA氏は改めて、職場、家庭、プライベートでのすべての約束事について時間を守っていたかを省みたのです。

そこでA氏が思い出したのは、取引先のB社の創立五十周年式典に参列したときのことでした。その日は余裕をもって会場に到着できるよう、早めに出発しましたが、会場付近でイベントが開催されていたため、



信頼関係の構築は 身近な約束を守ることから

道が渋滞しており、式典の開始時間ギリギリに会場のあるホテルに到着しました。

そうした状況だったので、「遅れても、遅刻者は自分だけではないだろう」とたかをくくっていました。ところが、開始時間より少し遅れて会場に入ると、式典はすでに始まっており、百名近くの出席者は皆、揃っていたのです。

式典後の懇親会の席で、B社の社長と話す機会がありました。そこで、「わが社は、創業当初、無理して仕事を受注しすぎた結果、納期を守れず、多くの取引先を失ったことがあります。それ以来、納期はもちろん、社内の打ち合わせなどもすべて時間厳守としています。おかげで再び多くのお得意様と信頼関係を築けるようになりました」と教えてくれたのです。

これは家族や友人など、近い間柄でも同様でしょう。約束を守ることが信頼関係の構築に欠かせません。しかし、子供と遊びに行く約束をうっかり忘れていたり、親に頼まれた買い物忘れてしまったりしたことはないでしょうか。些細な口約束であっても、守るべき約束には変わりありません。それを守られなければ、人間関係に溝が生まれてしまいます。

「この相手との商談なら別の日でも…」
「この会議であれば、多少遅刻しても…」
と約束の相手や内容に区別をつけず、約束を守ることを徹底したいものです。それが人との強固な信頼関係につながり、より豊かな社会を構築できるはずですよ。